

令和３年度 茨城県立水戸南高等学校【定時制課程】 「三つの方針」

三つの方針（スクール・ポリシー）	内 容
「育成を目指す資質・能力に関する方針」 （グラデュエーション・ポリシー）	【水戸南高校の学びの場で、「これから」の自分に向き合う資質・能力を身に付けて、困難に負けない自分を創る】 ○いつでも「これから」（未来）を意識し、「得たこと」よりも「やり続けること」に価値を感じながら、学び続けていくことの楽しさを資質として習得する。 ○世の中の成り立ちを知り、面白いと感じる分野と出会い、自分にプラスをもたらす人に出会い、自分の秀でた部分に出会い、高校時代に第１歩を踏み出す。 ○困難を乗り越えてきた経験も自信に変え、何度でも立ち上げられる人になる。「今までどおり」が通用しない未来において立ち上がる力を磨く。この場所で過ごす「高校生活の日々」の大切さが将来の自分の糧となる。 ○「自分にはできない」とあきらめず、「今はまだ、できないだけ」ととらえ、一人一人が目標を実現可能と信じ、自分の「学びに対する好奇心」に火を点ける。 ○学びの中で「自分にはどのような力があるか」と自己探究し、「将来何になることができるか」、「なりたい自分になる」など、自分の強みと本来の個性を表現できる資質を養う。 ○個性と多様性を大切にする自由さの中で、自立と自律の能力を磨く。自分の目標と今の自分がどう違っているかを見極めて、自分で修正できる力を身に付ける。
「教育課程の編成及び実施に関する方針」 （カリキュラム・ポリシー）	【単位制の特色を最大に活かした水戸南高校の学びで、自分の意思と選択で学べる時間割を提供し、一人一人のニーズに応える】 ○「なりたい自分になるための学びの場づくり」のため、単位制の特色を活かす。学びの積み重ねによって３年間で卒業でき、多様な教科科目、個別対応も含んだ発展的学習を可能にする。 ○全体的な効率よりも、一人一人の興味・関心・進路希望による科目選択が優先される水戸

	南カリキュラム。自分ペースの学びを実現し、生徒の個々に合わせた創造的・挑戦的な学びを展開する。 ○生徒主体のカリキュラムにおいて、自立した個人として授業に参加することで、自らが学んでいるという当事者意識を高め、より深く学ぼうとする意識を向上させる。 ○それぞれの教室においては、「間違える、わからない、質問する」が「当たり前」となるような雰囲気が醸成され、学びが安全安心な場であることを約束する。 ○「今はまだ、できないだけ」を教員が意識し、それぞれの学びの世界に導き、刺激し、能力を引き出すことで、生徒がクリエイティブに「何か」を見つけて、自分を変えていく力を認知する。 ○義務教育の9年間では、誰もが苦手と感じる分野を持つ。高校生活スタートで誰が必要とする基礎・基本の学びを導入し、高校での学びへの移行をスムーズにする。 ○ICTを有効に活用する。タブレット等を活用することで、自分の意見を伝達が苦手な生徒にとってもハードルが低くなり、自分との対話ができることから人との対話が可能になっていく。
「入学者の受入れに関する方針」 (アドミッション・ポリシー)	【「これまで」よりも「これから」を重視し、今あるものを良いと感じられ自分と相手の大切さを感じられる人を求める】 ○水戸南高校は一人一人の可能性の開花と、自己調整力の向上を目指している。“できないのではなく、今はまだ、できていないだけ”という想いから、生徒が本来持っている力を呼び起こし、自分の可能性や方向性を思い描けるように導いていく。「種は内に持っている。水が注がれれば花が咲く」という考えの下、生徒の発達や個性に寄り添う場であることを知ってほしい。 ○良いものを良いと思い、普通にあるものを大切に感じ、あたりまえにあるものの価値を考えられる人、今はまだ未完成でも、予測不能と言われる社会の中で、学ぶ楽しさを見つけ

	ようとする人、「自分の大切さ」と「相手の大切さ」をともに考え、自分のことも相手のことも大切に考えられる人に、本校に入学してもらいたい。 ○教員は、生徒一人一人の持つ能力と向き合って日々懸命に教育活動に取り組んでいる。生徒に安全と安心、そして安らぎを提供したいと考えている。 ○進学や就職で、さまざまな進路希望を持つ生徒が共存するのが水戸南高校の特色。水戸南高校を点数や偏差値等のモノサシで選ばずに、自分の感性と選択で本校に入学してもらいたい。
--	--

令和３年度 茨城県立水戸南高等学校【通信制課程】 「三つの方針」

三つの方針（スクール・ポリシー）	内 容
「育成を目指す資質・能力に関する方針」 （グラデュエーション・ポリシー）	【本校の通信制課程は、1951 年の創立以来、茨城県内唯一の県立通信制課程として、生徒一人一人のニーズや生活スタイルを尊重し、生徒と教員が、「これからの生活に必要なこと」を共に考え、それを実現することが使命であると考えています。】 ○「個別最適化された学び」 様々な背景を持つ一人一人の生徒が、多様な能力・適性、興味・関心に応じた学びを実現できるようにします。 ○一人一人の可能性の開花と、セルフケア力の向上 教員は、“できないのではなく、今はまだ、できていないだけ”という思いから、生徒が本来持っている力を呼び覚まし、自分の可能性や方向性を思い描けるように導きます。 ○「誰かに必要なことはみんなの快適」 個々の生活体験や学びから得られた知を、ユニバーサルデザインの視点に昇華させ、そこから生まれる安心感を、共に学ぶすべての人が共有していきます。 ○世の中の「とくべつ」とされていることは「本校では当たり前」 本校を取り巻くすべての人が、学校本来の大切さを日々実感できる学校でありたいと考えています。良いものを良いと感じられ、当たり前のことを当たり前と思うことのできる人、今は未完成でも、予測不能と言われる社会の中で、学ぶ楽しさを見つけようとする人、「自分の大切さ」と「相手の大切さ」とともに考え、互いを大切にできる人を育てます。

「教育課程の編成及び実施に関する方針」
(カリキュラム・ポリシー)

【本校では、全体的な効率よりも、一人一人の興味・関心・進路希望による科目選択が優先される“水戸南カリキュラム”を編成します。】

○「なりたい自分になるための学びの場づくり」

単位制本来の特色を最大限に活かすことを第一に考え、学びの積み重ねによって3年間の卒業が十分できるよう、多様な教科科目、個別対応も含んだ発展的学習を可能にします。

○「間違える、わからない、質問する」が「当たり前」

「まだ、できないだけ」を教員が意識し、それぞれの学びの世界に導き、刺激し、能力を引き出すことで、生徒がクリエイティブに「何か」を見つけて、より深く学ぼうとする意識を高めていきます。

○誰もが必要とする基礎・基本の学びの導入

義務教育の9年間では、誰もが苦手と感じる分野を持っています。本校では、高校での学びへの移行をスムーズにできるようにしています。また、スクーリング・レポート・考査の3つの柱に加え、ICTを活用することによってスクーリングの効果を高め、レポートの助けになるような教材を発信するようにします。

「入学者の受入れに関する方針」
(アドミッション・ポリシー)

【本校は、「これから」の気持ちを応援する学校として、「今、学びたい」という気持ちを尊重し、学び続けていくことの楽しさを習得する意欲をもった生徒の受入れを行います。】

○居住地や生活スタイルに合わせた通学方法で学びをサポートします。

通信制において、月2回のスクーリングは、日曜コース、火曜コースを設定しています。

また、下妻コース（日曜日実施）を選択することもできます。

○「学びに対する好奇心」をもつ生徒を受け入れます。

レポートの作成やスクーリングを通して、“自分にはできない”とあきらまず、これまで困難を乗り越えてきたことも自信に変え、何度でも立ち上がれる人になることを目指します。学びの中で、世界の成り立ちを知ることの喜びに気付くとともに、自分にプラスをもたらす人との出会いを通して、自分の強みを知り、高校時代に第一歩を踏み出してもらいたいと考えます。

○「学びをセルフプロデュースできる生徒」を育てます。

進学や就職で、さまざまな進路希望を持つ生徒が共存するのが水戸南高の特色です。外見を校則でしぼられない自由さの中で、自立・自律の能力を磨くことを目指し、自分の目標と今の自分がどう違っているかを見て、自分で修正できる力を身に付けていきましょう。